



J.M.J.A. News

日本マスターズ柔道

2005年9月1日 第1号

日本マスターズ柔道協会

〒157-0063

東京都世田谷区粕谷3-30-1

電話03(3326)3333

FAX 03(3305)7301

http://jamja.hp.infoseek.co.jp/

発行 会長 野口宏水

第二回日本マスターズ

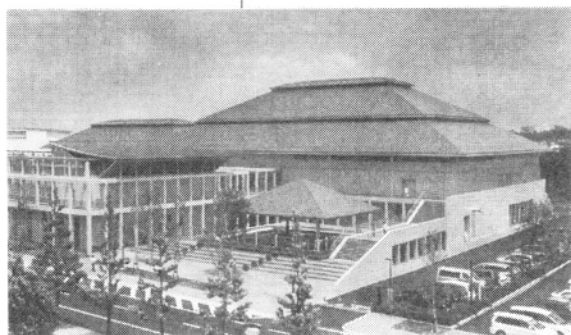
十二月二五日(金)～二七日(日)

埼玉県上尾市で

本年の第二回日本マスターズ柔道大会は、埼玉県上尾市で開催

盟(会長蓮見弘様)主管で、上尾市の埼玉県武道館で開催

の運びとなりました。十一月二五日(金)に形、二六日(土)に年齢別・体重別個人戦、二七日(日)に年齢別重量無差別個人戦と団体戦が行われます。(大会要綱は3ページに記載)



埼玉県武道館全景

日本マスターズ柔道協会は、発足の平成十四年五月十日以来三年を経過しました。大会は、世界マスターズが、六月に第七回をカナダ・トロントで千二百名参加で行われ、日本では昨年十二月記念すべき第一回大会を、静岡・浜北市において行い、二百名参加で大成功で終わる事が出来ました。世界ならびに日本の大会に試合または形で出場された方がマスターズ柔道会員として、現在四百十名おります。

会報の発刊にあたって

清水 正敬 (副会長)

昨年男子団体戦三人百八十歳(平均六十歳)

日本は高齢化社会となり国の政策として健康づくり運動が推進され、元気な老人になる事が望まれていきます。この生涯スポーツとして目標となる大会が在る事は大変意義のある事と考えます。

従来からの高段者大会は勿論、昇段の為に欠かす事は出来ませんが、高齢者で段の低い人は、試合のチャンスが有りませんでした。それが可能になりました。

“まずは日本で参加し世界への挑戦の足掛かりにしましょう”

マスターズの年代は、小・中・高・大・社会人と、それまで「勝」を目指し努力してきた人達ですが、これからは「勝」には、余り拘らずに「柔道を楽しもう」



赤ちゃんを連れて参加し和気藹々と楽しんでいました。

この大会が盛会になる事は、柔道界活性化(全柔連登録増)にも繋がり、参加者の多くが地域の柔道に携わっている関

係から青少年に後姿で指導している事にもなります。

その様

な活動をこの会報を通じ柔道愛好家の皆様に知って戴きたく、会報の発行は年二回を予定しております。(世界大会後と日本大会後) ご意見をお寄せ戴きより良い会と会報にして行きたいと思っております。玉大会も会員の皆様の仲間をお誘い合せて、是非五百名位の参加者を目標に素晴らしい大会が出来たらと期待しているところです。

終りに お陰様で趣旨・目的に間違いがない事が皆様方の暖かいご支援とご協力で確認出来ました。なお一層の賛同者参加者、会員の獲得の為に、会員のゼ口県九県を、是非ともお一人でも参加戴きます様。全日本柔道連盟及び各県柔道連盟の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。 発刊のご挨拶とさせていただきます。

第一回日本マスターズ柔道大会

柔道愛好の精神で大いに盛り上がる

第一回日本マスターズ柔道大会

大会は平成16年12月2日～4

日に静岡県浜北市総合体育館

グリーンアリーナで静岡県柔

道協会主管(会長高柳喜一様)

延べ三百名のマスターズが参

加し 盛大に開催されました。

大会成功の第一の要因は、

開催をお願いし短時日であつ

たにも拘らず、ご承諾を戴い

た静岡県柔道協会の高柳会長

はじめ役員の方々の昼夜を分

かたぬご努力でした。

成功の要因をもう一つ挙げ

るならば、参加されたマスター

ズの面々の柔道に対する並で

はない柔道愛好の精神です。

それは三日間行われた開会式

でのマスターズ代表による宣

誓の辞にいみじくも表現され

ておりますので、ここに全文

紹介します。

宣誓(大会初日)

日本傳道館柔道が嘉納師範により創始され百二十二周年を迎え、今や世界の百八十七ヶ国で柔道が普及発展を続けている事は日本人としてま

た柔道愛好家の一人として、誇りであ

り欣快に耐えざる所でありま

す。

今年はまた第二十八回オリ

ピックがアテネで開催され、

日本柔道が輝かしい成果を取

め深い感動を我々柔道愛好家

に残してくれました。

柔道史に残る二〇〇四年も暮

れんとして、ここに第一回日

本マスターズ柔道大会が開催

の運びとなり本日より静岡県

浜北総合体育館に於いて熱戦

を展開する次第です。

我々選手一同は講道館柔道の

真髓を発揮し、マスターズ精

神に則り、正々堂々立派な競

技を展開することを誓います。

平成一六年十二月二日

選手代表講道館八段

(満八三歳)真砂都留夫

宣誓(大会中日)

本日ここにお集まりの皆様方は、真に柔道を愛し、家族を愛し、地域社会に貢献し、柔道を通じ世界平和を希求している人ばかりです。只今賜りました野口会長のマスターズ柔道の趣旨を肝に銘じ本日

は心地良い汗を流し、緊張感を味わうため、正々堂々試合することを誓います。

平成一六年十二月三日

講道館六段 香川県 来田武

宣誓(大会最終日)

私たち日本マスターズ柔道

大会出場者一同は、どんな病

気にかかってもおかしくない

といわれる年齢にさしかかり

つつも、こうして元気に嘉納

治五郎師範の創設された日本

傳講道館柔道を学び伝え続け

ることに、青少年の健全

育成に貢献できる喜び、そし

て大和民族の和の精神で互い

に和みあい、この歳になつて

もなお競い合うことのできる

喜びを噛みしめつつ、マスター

ズ柔道の精神に恥じぬよう日

ごろ鍛えた技を十分に発揮し、

正々堂々と戦い抜くことを誓

います。

平成一六年十二月四日

第一回日本マスターズ柔道大

会参加者代表

滋賀県柔道連盟 片桐清司

メダリストと団体戦出場者

は次の通りです

形の部

投の形 1位 鈴木智晶(岐阜)大

西真仁(岐阜)

固の形 1位 渡辺龍治(宮崎)甲

斐浩二(宮崎) 2位 井上康彦(栃木)

金子智郎(茨城) 3位 長崎佳子(石

川) 窪田幸緒(石川)

極の形 1位 有田早苗(栃木)井

上康彦(栃木) 2位 白井恵子(静岡)

白井康二(静岡) 3位 大矢秀昭(東

京) 安河内浩(東京)

柔の形 1位 大宮民子(愛知)横

山悦子(福井) 2位 小松貞幸(山形)

小松末子(山形) 3位 今立篤子(秋

田) 加古若子(愛知)

講道館護身術 1位 伊福義雄

(宮城) 甲斐浩二(宮城) 2位 黒田

美千子(岐阜) 加古若子(愛知) 3位

小松末子(山形) 小松貞幸(山形)

五の形 1位 西島温行(静岡)磯

部正博(静岡) 2位 横山悦子(福井)

古本照男(福井) 3位 今立篤子(秋

田) 黒田美智子(岐阜)

古式の形 1位 真砂都留夫(東

京) 佐藤良吉(東京) 2位 黒田美千

子(岐阜) 今立篤子(秋田) 3位 横

山悦子(福井) 古本照男(福井)

年齢別体重別個人戦

男子の部

M1 66kg下 1位 佐藤政美(宮城)

M1 73kg下 1位 松村浩司(静岡)

M1 90kg下 1位 小幡伸治(熊本)

2位 野村清(東京)

M1 100kg下 1位 三谷健(神奈川)

M2 66kg下 1位 今嶋禄郎(大阪)

2位 青木太(茨城)

M2 73kg下 1位 大島修次(千葉)

2位 松澤薫市(沖縄) 3位 田嶋弘

(石川) 岩瀬達彦(静岡)

M2 81kg下 1位 鴨治由貴(千葉)

2位 金原雅樹(静岡) 3位 伊藤厚

志(静岡)

M2 90kg下 1位 渡辺龍治(宮崎)

2位 高長邦夫(愛知) 3位 鈴木楨

(埼玉)

M2 100kg下 1位 窪田智之(愛

知) 2位 佐々木昌秀(埼玉)

M3 66kg下 1位 福本敏巳(福井)

2位 森田賢一(静岡)

M3 66kg下 1位 中村秀徳(静岡)

M3 73kg下 1位 坂下覚(滋賀)

2位 倉田政彦(静岡)

M3 81kg下 1位 塚田信哉(神奈

川) 2位 森有利(愛知) 3位 保科

秀満(愛知) 寺田光(静岡)

M3 90kg 1位 蔵満秀規(愛知)

2位 大石鉄美(愛知) 3位 石川浩(愛

知) 高橋洋一(埼玉)

M3 100kg下 1位 寺田満寿夫(静岡)

M3 100kg超 1位 鈴木基夫(愛知)

M4 60kg下 1位 今野英一(静岡)

M4 66kg下 1位 磯部克博(静岡)

M4 73kg下 1位 倉野祐一(岐阜)

2位 二本松敬太(埼玉) 3位 八代洋

一(岐阜) 平井敏雄(兵庫)

M4 81kg 1位 佐々木政彦(埼玉)

2位 白井康二(静岡) 3位 森政

弘(岐阜)

M 4	90 kg 下	1 位	卜部秀幸 (愛知)
2 位	美濃達也 (岡山)	3 位	水野博介 (愛知)
M 4	100 kg 下	1 位	村瀬貢二 (愛知)
2 位	日野一成 (大阪)		
M 5	60 kg 下	1 位	小林光人 (三重)
2 位	福岡幹雄 (神奈川)		
M 5	66 kg 下	1 位	原優 (愛知)
2 位	川島伸夫 (静岡)		
M 5	73 kg 下	1 位	平野相徳 (和歌山)
2 位	一言力 (静岡)	3 位	小笠原進 (石邑勇 (千葉))
M 5	81 kg 下	1 位	高橋和裕 (神奈川)
2 位	伊福義雄 (宮崎)	3 位	今野伸俊 (静岡)
M 5	90 kg 下	1 位	雜賀昌盛 (兵庫)
2 位	手島文男 (岐阜)	3 位	大塚俊彦 (埼玉)
M 6	60 kg 下	1 位	大矢八平 (兵庫)
2 位	三浦孝司 (奈良)	3 位	井上博

M 7	81 kg 下	1位	清家春夫 (千葉)
2位	三橋英夫 (神奈川)	3位	今里
宏一郎 (東京)	鈴木治雄 (千葉)		
M 7	90 kg 下	1位	伊藤・田中・田中
(NZ)	2位	江崎寛 (千葉)	3位
会田俊雄 (埼玉)			
M 8	60 kg 下	1位	石黒金次 (静岡)
2位	永島健次郎 (千葉)	3位	福盛
田立明 (神奈川)			
M 8	66 kg 下	1位	仁木征輝 (岡山)
2位	望月秋男 (静岡)		
M 8	73 kg	1位	野口宏水 (東京)
2位	佐藤勝利 (東京)	3位	宮本斗

満(埼玉)	M 6	66 kg 下	1位	柿田豊一(石川)				
M 6	73 kg 下	1位	佐々木安廣(岩手)	2井上英治(埼玉)	3位	来田武(香川)		
M 6	81 kg 下	1位	山田次光(大分)	2位	諸山和美(愛知)	3位	海野富夫(埼玉)	吉成隆杜(東京)
M 6	90 kg 下	1位	山本昭(兵庫)	2位	加藤博(愛知)	3位	吉永豊貴(大阪)	
M 7	60 kg 下	1位	相田盛良(長崎)	2位	勝呂孝(埼玉)	3位	鬼柳一守(岩手)	
M 7	66 kg 下	1位	岡本美臣(東京)	2位	深田静悦(静岡)	3位	中島忠(埼玉)	
M 7	73 kg 下	1位	内藤純(栃木)	2位	伊藤久雄(千葉)	3位	鈴木敏紀(新潟)	

M 11	66 kg 下	1位	真砂都留夫(東京)
女子の部			
F 2	48 kg 下	1位	山内久美(神奈川)
F 3	57 kg 下	1位	白井恵子(静岡)
F 6	52 kg 下	1位	加古若子(愛知)
F 6	63 kg 下	1位	今立篤子(秋田)
F 7	48 kg 下	1位	長崎桂子(石川)
年齢別体重無差別個人戦			
M 1	1位	小野寺剛(静岡)	
M 4	1位	佐々木政彦(埼玉)	
M 5	1位	大塚俊彦(埼玉)	
M 6	1位	吉永豊貴(大阪)	

成(大阪)	M 8	81 kg 下	1 位	川上勝(岡山)
2 位	佐藤勝志(東京)			
M 8	90 kg 下	1 位	栗本忠弘(大阪)	2 位
市村隆盛(愛知)	3 位			
副島正秋(神奈川)				
M 9	60 kg 下	1 位	岡田庫二郎(兵庫)	
M 9	73 kg 下	1 位	高橋勘十(岩手)	2 位
安河内浩(東京)				
M 9	81 kg 下	1 位	宮本隆(神奈川)	2 位
中尾浩(北海道)				
M 9	90 kg 下	1 位	奈良澄(愛知)	
M 10	66 kg 下	1 位	宮崎隆夫(神奈川)	2 位
大矢秀昭(東京)				
M 10	73 kg 下	1 位	田口吉三郎(東京)	
M 10	81 kg 下	1 位	早福四郎衛(新潟)	
M 10	90 kg 下	1 位	原田照夫(埼玉)	

TEL:048-822-5891 FAX:048-833-8618

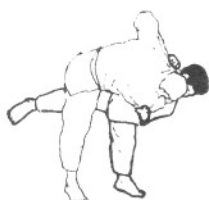
男子 1位 丸の内柔道クラブ（今里宏一郎、三橋英夫、清家春夫） 2位 滋賀（佐々木伸行、彦素久仁雄、片桐清司） 3位 静岡（内藤克己、水嶋武雄、渡辺俊三） 4位 東京A（野口宏水、清水正敬、平川道隆） 5位 東

2位	吉成隆杜（東京）
M 7	1位 鈴木敏紀（新潟）
2位	大上敏幸（東京）
M 9	1位 中尾博（北海道）
2位	宮本隆（神奈川）
3位	岡田庫二郎（兵庫）
F 6	1位 今立篤子（秋田）

京B（佐藤勝志、小林茂、久保田友治）

女子 1位 ポケモン（石角洋子、池田佐知子、土川美和子） 2位 チーム佳（佐々木光、鈴木香、岡本さおり）

3位 なでしこ（植田睦、正田みはる、山田千里） 4位 しばの会（今立篤子、大宮民子、黒田美千子）



第七回世界マスターズ柔道選手権大会

本年はWMJC発祥の国カナダへ回帰!!

野口 宏水 (会長)

*大会への挨拶状

『今まで世界マスターズ柔道大会は 第一回 第二回はカナダ 第三回アメリカ 第四回イギリス 第五回柔道発祥の講道館 そして昨年第六回はオーストラリアと回って参りましたが本年第七回は再びWMJC発祥のカナダに回帰します。私共年配柔道愛好家が唯一出場できる国際大会で、試合の緊張感を味わうと共に



ツアー参加者一行 ワシントンのホテルの前で

国境 人種 言語 宗教等を超えて世界の新旧柔友と交歓することが大きな楽しみですが、もう一つの楽しみは周辺地域を訪問 自然 歴史 文化 風土 人々に接することであります。今回は往々に世界政治の中心ワシントンDCにて在米日本国大使館へ表敬訪問、大会滞在中は世界三大瀑布の一つナイアガラ観光、更に帰りには世界経済の中心ニューヨークで大リーグ観戦(ヤンキースvsメッツ)、本場ブロードウェイでミュージカル鑑賞等々、盛り沢山の旅が期待できます。』

以上の呼び掛けに応じて、三六名の出場参加者と五名の応援家族が集まった。六月九日から三十日までの北米大陸への旅である。

***アメリカへの第一歩は、日本大使館を表敬訪問**

ホワイトハウス キャピトルヒル議事堂 ワシントン記念碑 リンカーン記念堂スミ



野口会長 安河内相談役夫妻 加藤大使 島谷総監督

交歓稽古と友情交歓会

ワシントン柔道クラブの宮崎剛八段(写真右)は小生並びに清水副団長の先輩であり、同じく先輩後輩となる代表世話人 古森義久さん(写真左)



は産経新聞ワシントン駐在特別委員で世界的な視点から日本を観るジャーナリストであり、今や世界のオピニオンリーダーである。

古い西洋の大学を思わせる赤レンガの学舎が立ち並ぶジョージタウン大学の一角にある二〇〇畳程の道場では「日本から初めてこれほど多くの高段者を迎えるので(宮崎師範)と約八十人の柔道部員に迎えられる。」

宮崎師範の歓迎の辞の後団を代表して 高橋勘十相談役の伝家の宝刀 大内刈りの説明 続いて 全日本五回出場の高泉淳六段の得意技 大外刈りの説明に一同納得。我等一同も 試合直前で時差ぼけ追放に適度の汗を流す。終わりの 交歓会は 宮崎師範行



大会会場 女性応援団がいつも最前列で

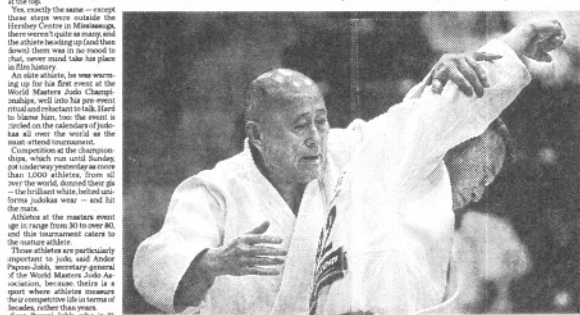
き付けの第二道場「与作」にて。明早朝出発を気にしながら 安河内名誉団長 清水副団長 果ては古森代表世話人の日米両語の名司会で、草の根外交の宴は 時差ぼけを完全に忘れるまでに果てしなく続いた。

***大会**

大会は 六月二二日〜二六日の五日間に亘って トロントより車で一時間位五大湖の一つオンタリオ湖のほとり、人口六十万 カナダ六番目の都市ミシソーガ市(愛知県刈谷市と姉妹都市)のハーシェイセンターにて 参加者一五〇〇人(パンフレット)で行われた。

Mastering 'the gentle way'

More than 1,000 mature judokas gather this week for world championships
Judo is more than a martial art - it's a powerful ballet, by Jennifer Quinn



On the mat, two of the more experienced judokas were seen in action. In two months, he said with an air of confidence, he will be competing in the red and white belt that designates a 4th dan rank. It is a true measure of his skills exceeding those who wear the black belt.

On the mat, he and Sakata moved with slight stiffness and just a touch of delay, considered with the younger judokas who had competed in the 40 something who preceded them, and they did the exact same routine, including a challenging lift where Oya balanced Sakata across his back at a 45-degree angle.

He's been in judo for more than 50 years, but Oya joked through a translator, people don't guess that he's nearly 75.

"Sometimes," he said, "they think I'm old."

Asked if he ever worried about getting hurt after being thrown to the ground in a fight, Oya said he never worries about it. That's not what judo is about, he explained. It's an athlete in a new way to make him a necessary -- and therefore, it's his responsibility to make sure his opponent isn't hurt. The same way an adversary will take care of him. After all, judo is translated as the gentle way.

2005年6月23日トロント・スター紙：形出場の最年長者 大矢7段 75歳
柔道…柔らの道。それは単なる格闘技以上のもの。清流に水が流れる如く優雅にして しかも万雷の力を秘めた古典バレエの如きもの(右) 相田理事

横山さんが柔の形で入賞ならずというように世界の形の進歩は目覚ましい。将来は普及度に依っては、オリンピックにも採用されるのではと本大会で思ったものである。

二、試合
特筆すべきは、最年長八十才以上の、我が宮崎隆夫相談役の瞬時の燕返は見事な一本！万雷の拍手喝采で、日本柔道ここにあり。

更に、来田武・久保雅昭理事六段・国学院OBお二方は、全一本勝の金メダル。表彰式で金メダルを掛けてもらう久保君の胸には、第一回ウエランド大会で金メダルを獲得四年前早く逝つてしまつた故前田拓雄日本マスターズ副会長の遺影があり、金メダル獲得の報告をしていたのには胸が一杯になった。

審判として我がJMJAから清水八段 来田六段の二人が代表して務められ、日本傳講道館審判員として模範的な審判を披露された。

昭和二十七年中央大キャップテン島谷経三七段には今回は総監督をお願いして、試合場にて出場者を、時には審判員？をも的確にコーチしていただいた。我が出場者の技が決まるとスカサズ大声で

「一本！」を宜し、釣られて審判員も「一本！」。ワシントンではかつての戦友、宮崎元慶應キャプテンとの久方振りの再会を喜んでおられた。

*ニューヨーク椎名道場で交歓稽古と交換会の椎名清八段は、今を去ると四五年前、渡航の自由化三

2005年8月17日毎日新聞(香川版)に載った 来田理事(左から2人目)の記事 右が銅の内藤理事

年前の一九六〇年ニューヨークに柔道の指導者と求められ、いまはUSJF(全米柔道連盟)会長をされている米塚義定先生と二人で文字通り徒手空拳渡航し、数々の難辛苦の末、後を追って来られた日大柔道部の同輩、江口先生、後輩、島本先生などと強固な絆を作つて柔道普及に努め、堂々たる柔道人生を闊歩されている。(この痛快な柔道人生は、米塚先生著「武士道アメリカを征く」〇三年七月恒文社21版ご参照。

最後のアメリカ。ここでも日本からの沢山の高段者到来とばかり、先生はもうひとつの道場の門下生にもお声をかけていただいているので、我々を含めて一〇〇人余りが道場一杯に交歓稽古。そして良い汗を存分に流した後は椎名先生が存分に用意して下さったビールや料理を存分に頂戴して最後のアメリカ交歓に惜別した。

終わりに
かくて、第七回世界マスターズ柔道大会 十一日間、生涯健康柔道を通しての草の根外交の旅は、それぞれの人生に更に豊かさを加えて幕を閉じ

一、形：
延べ一二三組(日本は九組)が出場。日本からの入賞者は男性組が、取、大矢相談役、受、安河内相談役組が、極の形で銀。女性組は、取、横山悦子理事、受、小瀬純子会、員組が、護身術で、見事金。更に、取、小瀬、受、横山組で、古式の形で二つ目の金。形について総括すると、参加数・質共年毎に躍進しており、特に一昨年、全日本形競技大会柔の形で優勝された



戦い終って、来田武・久保雅昭選手と宮崎相談役

審判として我がJMJAから清水八段 来田六段の二人が代表して務められ、日本傳講道館審判員として模範的な審判を披露された。

昭和二十七年中央大キャップテン島谷経三七段には今回は総監督をお願いして、試合場にて出場者を、時には審判員？をも的確にコーチしていただいた。我が出場者の技が決まるとスカサズ大声で

「一本！」を宜し、釣られて審判員も「一本！」。ワシントンではかつての戦友、宮崎元慶應キャプテンとの久方振りの再会を喜んでおられた。

*ニューヨーク椎名道場で交歓稽古と交換会の椎名清八段は、今を去ると四五年前、渡航の自由化三

年前の一九六〇年ニューヨークに柔道の指導者と求められ、いまはUSJF(全米柔道連盟)会長をされている米塚義定先生と二人で文字通り徒手空拳渡航し、数々の難辛苦の末、後を追って来られた日大柔道部の同輩、江口先生、後輩、島本先生などと強固な絆を作つて柔道普及に努め、堂々たる柔道人生を闊歩されている。(この痛快な柔道人生は、米塚先生著「武士道アメリカを征く」〇三年七月恒文社21版ご参照。

最後のアメリカ。ここでも日本からの沢山の高段者到来とばかり、先生はもうひとつの道場の門下生にもお声をかけていただいているので、我々を含めて一〇〇人余りが道場一杯に交歓稽古。そして良い汗を存分に流した後は椎名先生が存分に用意して下さったビールや料理を存分に頂戴して最後のアメリカ交歓に惜別した。

終わりに
かくて、第七回世界マスターズ柔道大会 十一日間、生涯健康柔道を通しての草の根外交の旅は、それぞれの人生に更に豊かさを加えて幕を閉じ

12月、日本マスターズに出場、無冠でしたが、やれるからになったと自信が湧き、今回トロントの世界マスターズ出場を目標に練習しました。

初日、形の部で、固の形（かためのかた：寝技の演武）に出場、7組中4位で無冠でした。

2日目、個人戦の部。早めにホテルを出て、歩いて会場に向いました。

いざ試合となり、私の体重60キロ未満クラスで年齢70歳以上75歳未満は、他に登録者がなく、戦わないまま優勝。拍子抜けで、表彰を受けるのが申し訳ない感じです。でも、チャレンジ精神に表彰する意味があるといわれ、素直に受ける気持ちになりました。周りの先生や仲間から、おめでとうと言われた途端、嬉し涙がこみ上げて来ます。世界マスターズ参加を目標に、精一杯努力してよかったと、感慨ひとしおです。

世界マスターズ柔道大会では、方々の国から来た人達と、交流し、お互いに相手に敬意を抱いていることを感じる。これはすこく楽しいです。柔道をやっている本当によかつ

た。この拙文を読んで下さるあなたにもお勧めです。これからも、柔道を通じて、自分をつくりあげ、友情をつくりあげていきたいです。

二人の銅メダル

中島 忠

（理事 埼玉県）

此の度のカナダ大会に於いて、M8 66kgクラス出場の私は過去二回参戦し、届かなかった三位入賞メダルを、手にする事が出来ました。これは私にとって単なるメダルではないのです。人それぞれの想いは有りますが、私、小、中、高と柔道に励み、二十才頃まで柔道人生を送ってきた私でしたが、社会へ出て家庭を持ち仕事に打ち込み、三十年を過ぎし頃、妻が私に「還暦もあと五、六年ですね、なにかやり残した事があれば協力しますよ。」と言われ、「そうだ、途中で終わっている柔道を体の続く限り極める！」事を決意しました。その折、日本マスターズ柔道協会を知りました。快く会員の皆様が隔たり無く接してくださり、ご指導により今回の受賞に至りましたことに深く感謝致し

ております。

さらに、出発前より心に誓っていたことに、小生と四十数年苦楽をともにし、理解と協力を惜しまぬ妻の首にメダルを掛ける事でした。くしくも六月二十二日妻の誕生日に、実現出来まして、小生、異国の地で、妻と共に人生の一ページを新たに心に刻んだ大会となりました。



表彰台前で 中島理事夫妻

そして、マスターズ柔道の素晴らしき、会員諸兄に感謝しております。特に今般快く御請託を下さり、固の形出場の機会をあたえてくださった、「受」を勉めてくれた、茨城の杉原先生に本誌をお借りして、改めて御礼申し上げます。これにてカナダ大会の想い出

と致します。

一所懸命

相田 盛良

（理事 長崎県）

I、満喫「長崎花月」後の出来事

スケート、乗馬、テニス、水泳、サッカーと万能選手だった妻の父が「一度本物の料亭の味を知れ」と、庶民には手の届かぬ「長崎卓袱」の料亭に招待してくれた。妻の父母、義兄（釜本時代の日本サッカー代表選手）夫婦と、私達夫婦六人三十六種類の料理を堪能した。その場所は、百六十年目を持つ料亭で、日本最初の洋室、勝海舟、坂本龍馬、頼三陽が使っていた部屋だった。

その数日後に、本人には極秘の癌脚骨折で入院。二週間の入院中、一度も見舞に行くことなく「切切たる願い」で山坂250km走行、48歳まへの16歳体重57kgに絞り込んでいた。妻は「人の親だと思つて、・・・」と云いながら、「怪我だけ注意してね。」と六月十八日（土）送り出してくれた。

「貴乃花とおれんちの風呂

に一緒に入った。」という妻を、「親父を帰るまで死なせるな！あと帰ったらめんどうみるから」と、飛び出した。その一歩から六月三十日（木）まで第七回世界マスターズ柔道選手権大会では、野口会長をはじめとして皆様に感謝します。

II、三位一体（キリスト教で神、聖霊、キリスト）

ワシントンでアメリカ合衆国駐在全権大使加藤良三閣下に拝謁して、三つの質問に丁寧に答え戴き光栄の至りでした。加藤大使の「①日本の経済の安定②日本文化の発展的寄与③政策の一貫性」の三位一体の道標を示唆頂いた。

III、ジョージア大学での青年との約束

60人を超える学生達との稽古は最初から最後まで「水を得た魚の如く」実に楽しかった。73kg級、33歳のウリ・バルザリ君に最初から打込み相手をして、バラバラの太外刈を矯正しながら、最後岡山淳六段と鈴木基夫六段が丁重に指導して、キチンとなったことに、本人は大喜びで、「トロントに応援に行きます。」と言ってくれたのには驚いた。

六月二三日に約束を守つてくれた。



稲田理事

IV、試合はくやしかった。

6/20、21 大矢秀昭
大先生には、「柔の形」の再徹底指導を夜中までお願いし、本番にのぞんだ。6位の成績といながら、6/23のトロント新聞を見てその写真から自画自賛「二人とも力強い姿は魅力的」。何故ならば、日本代表選手権第一人者ペア女性の方々が「柔の形」でメダルを落したことが、残念であり、外国群段のレベルアップに驚嘆したからです。

6/23の個人戦 60kg/M7に出場し、勝っていた試合を1秒前油断し、金メダルをかけての凱旋が出来ず、またくやしさを引きずってしまった。翌朝からフランスに向けての厳しい戦いの準備を開始した。フランスの青年を16年前1年教えて、祖父、父、子と親子三代の柔道家が多いと知っているの

次回のフランスは、10人くらい相手にしないと目的達成は出来ない。

金を逃がすとナイヤガラ瀑布も、ブロードウェイも、大リーグも心を満足するには、不足しがちであった。一方このことは、メダルを落して、がつくりと首を落して帰国する人たちの気持ちを十分に汲み取ることが出来るというものだと思う。(後略)

いろいろの方々のお世話を頂き、「感謝」の一言です

我が柔道歴とマスターズ大会に参加して

小西 正弘

(理事 千葉県)

子供の頃から勉強より格闘技が好きで、高校に入学して迷わず柔道部に入部した。そこには私以上に格闘技の好きな連中が集まり、初めて世の中の広さを知ったものである。

当時の柔道部は、山形県下で常に優勝争いをしておりその稽古たるや凄まじい迫力で、今は亡き故・鈴木先生に師事しインターハイに出場するなど数多くの思い出をつくって頂いたと感謝しております。



トロントでの試合場前にて 小西理事(中央)

切に記憶している。

一昨年、還暦を迎えた機会にそろそろ柔道も卒業しようかと考えていた頃に、学生時代の柔道仲間がマスターズ大会への出場を誘われ、昨年・今年と世界マスターズ大会に出場する機会を得た。

この年で外人と試合をやるとは夢にも思ってみませんでした。昔とった杵柄ではありませんが試合は何とかなるもので、また、稽古後のシャワーの気持ちのいいこと、ビールの味は醍醐味である。

近年、社会状況の変化と健康志向などの高まりから各種のスポーツでマスターズ大会が開催されている。日本柔道界においても数年前に「日本マスターズ柔道協会」が設立され野口会長、清水副会長のご尽力により益々の隆盛を極めております。

今日、マスターズの柔道大会に出場することで(1)日頃のトレーニングに積極的に取り組んでいること(2)試合前の独特の緊張感により生活が刺激的になったこと(3)柔道家の立派な諸先生との交流が広がるなど、柔道の奥深さとその魅力に填りつつあります。

ます。

柔道家として体力的・素質的に恵まれている訳ではありませんが、柔道が好きで長く続けてきたことが今日の状況だと思います。

最近、死ぬまで柔道とは縁が切れないのではと思うようになり、女房に「あの世に逝く時は稽古着を身に付けて行くからよろしく！」と冗談交じりをお願いしている今日この頃であります。

編集後記

お蔭様で第一号をお届けできるのは嬉しい限りです。ただ、何分にも、素人の集まりですので、皆様からのご意見とお便りでより楽しい会報にしていきたいと思っております。お便りを拝見していると、ご家族・先輩・友人あつてのマスターズ柔道だということをあらためて痛感させられました。

(K・N)

(題字は野口会長の揮毫です)

